

目次

平成 29 年度社会福祉法人新里紫桐会事業報告書	2
平成 29 年度特別養護老人ホーム紫桐苑事業報告書	11
平成 29 年度地域密着型特別養護老人ホーム桐の花事業報告書	16
平成 29 年度新里デイサービスセンター事業報告書	23
平成 29 年度小規模多機能型居宅介護事業所あすなろ事業報告書.....	27
平成 29 年度新里紫桐会居宅介護支援事業所事業報告書	29
平成 29 年度在宅介護支援センター事業報告書.....	32
平成 29 年度工房まんさく就労継続支援(B型)事業所事業報告書.....	35
事業報告の附属明細書.....	37

平成 29 年度社会福祉法人新里紫桐会事業報告書

平成 29 年度事業計画に基づき、介護保険法令及び障害者総合支援法令を遵守した上で、自主的な経営基盤の強化と提供するサービスの質の向上を図り、地域福祉サービスの拠点となるよう各種事業を展開してきました。

また、利用者の方々が明るく健やかな毎日を過ごしていただくよう安心・安全なサービスに心掛けながら、心から満足していただけるよう、利用者の自己決定と選択を尊重すると共に、その尊厳に配慮し日常生活の支援に努めてまいりました。

1 法人の概況

(1) 設立年月日

平成 4 年 7 月 24 日

(2) 主たる事業所の住所

岩手県宮古市茂市第 1 地割 115 番地 1

(3) 定款に定める目的

本会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、社会福祉事業を行う。

(4) 定款に定める事業等内容

① 第一種社会福祉事業

- ・ 特別養護老人ホーム紫桐苑（定員 50 名）
- ・ 地域密着型特別養護老人ホーム桐の花（定員 29 名）

② 第二種社会福祉事業

- ・ 新里ダイサービスセンター（定員 25 名）
- ・ 紫桐苑短期入所生活介護事業所（定員 10 名）
- ・ 新里紫桐会居宅介護支援事業所
- ・ 小規模多機能型居宅介護事業所あすなろ（登録定員 29 名）
- ・ 工房まんさく就労継続支援（B 型）事業所（定員 20 名）

③ 宮古市受託事業

- ・ 配食サービス
- ・ 介護予防ケアマネジメント業務
- ・ 訪問調査業務
- ・ 宮古市地域包括支援センター総合相談支援業務

(5) 資産管理に関する事項

不動産所有状況	所在地	期末帳簿価格	
基本財産	土地	岩手県宮古市茂市第 3 地割 128 番 8	5,150,000 円
		岩手県宮古市茂市第 1 地割 124 番 2	12,400,000 円
	建物	岩手県宮古市茂市第 1 地割 115 番 1	449,058,000 円
		岩手県宮古市茂市第 3 地割 128 番 8	18,782,000 円
		岩手県宮古市茂市第 1 地割 124 番 2	385,809,000 円

(6) 役員、評議員に関する事項

① 役員、評議員の状況(理事定数6名、監事定数2名)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	根 木 整 藏	
理 事	和 美 晋	
理 事	藤 村 政 利	
理 事	袈 岩 昭 雄	あすなろ運営推進会議委員
理 事	山 口 勉	
理 事	三 浦 雅 裕	施設長
監 事	関 沢 敏	桐の花運営推進会議委員
監 事	岸 忍	第三者委員・苦情相談員
計	8名	

② 評議員の状況(評議員定数8名)

役 職	氏 名	備 考
評 議 員	後 藤 十四男	第三者委員・苦情相談員
評 議 員	明 石 克 之	桐の花運営推進会議委員
評 議 員	野 崎 正	あすなろ運営推進会議委員
評 議 員	舩 澤 實登子	
評 議 員	山 口 忠 幸	
評 議 員	野 崎 盛 夫	
評 議 員	荒 矢 一 枝	
評 議 員	越 田 由美子	
計	8名	

(7) 職員に関する事項

① 職員数

区 分	正規職員	臨時職員	パート職員	宿日直員	平成29年度	平成28年度	比較増減
紫 桐 苑	25名	14名	5名	2名	46名	45名	1名
桐 の 花	11名	9名	4名	1名	25名	19名	6名
新里デイサービス	4名	5名	2名	0名	11名	11名	0名
居宅介護支援事業所	2名	1名	0名	0名	3名	3名	0名
あ す な ろ	7名	5名	5名	0名	17名	15名	2名
工 房 ま ん さ く	3名	3名	0名	0名	6名	5名	1名
計	52名	37名	16名	3名	108名	98名	10名

② 職員採用・退職状況

区 分	正規職員	臨時職員	パート職員	合 計
採 用	3名	7名	3名	13名
退 職	3名	0名	0名	3名

③ 正規職員登用状況

登用職種	登用人数
介護福祉士	3名

(8) 寄付金・寄贈物品に関する事項

寄付者名	寄附目的	金額・物品名
野崎政敏様	法人のために	30,000円

2 役員会・評議員会・組織運営に関する事項

(1) 理事会の開催状況

回	開催日	理事出席数	監事出席数	場 所
1	平成 29 年 5 月 26 日	5名	2名	桐の花会議室
2	平成 29 年 6 月 13 日	6名	2名	桐の花会議室
3	平成 29 年 11 月 20 日	6名	2名	桐の花会議室
4	平成 30 年 3 月 20 日	4名	2名	桐の花会議室

(2) 評議員会の開催状況

回	開催日	評議員出席数	監事出席数	場 所
1	平成 29 年 6 月 13 日	7名	1名	桐の花会議室
2	平成 29 年 11 月 28 日	8名	-名	桐の花会議室
3	平成 30 年 3 月 28 日	7名	-名	桐の花会議室

(3) 監査の実施状況

① 監事監査実施状況

回	開催日	理事出席数	監事出席数	場 所
1	平成 29 年 5 月 18 日	2名	2名	紫桐苑理事長室
2	平成 29 年 8 月 24 日	2名	2名	紫桐苑理事長室
3	平成 29 年 11 月 10 日	2名	2名	紫桐苑理事長室
4	平成 30 年 2 月 16 日	2名	2名	紫桐苑理事長室

② 所轄庁監査実施状況

ア 岩手県（宮古保健福祉環境センター）

区 分	実施日	監査内容	対象事業所
福 祉 課	平成 30 年 1 月 31 日	集団指導	工房まんさく就労継続支援(B型)事業所
管 理 課	平成 29 年 9 月 28 日	実地指導	特別養護老人ホーム紫桐苑、紫桐苑短期入所事業所、新里デイサービスセンター、居宅介護支援事業所
	平成 30 年 2 月 22 日	集団指導	介護保険対象事業所

イ 宮古市保健福祉部

区 分	実施日	監査内容	対象事業所
福 祉 課	平成 29 年 12 月 20 日	指導監査	社会福祉法人新里紫桐会
介護保険課	平成 29 年 5 月 12 日	集団指導	地域密着型特別養護老人ホーム桐の花
	平成 30 年 3 月 27 日		小規模多機能型居宅介護事業所あすなる

(4) 苦情解決事業に関する事項

① 苦情解決事業連絡会議の開催状況

回	開催日	苦情報告件数	内 容
1	平成 29 年 4 月 27 日	0	平成 29 年度苦情受付体制について 平成 29 年度苦情解決への取り組みについて
2	平成 29 年 10 月 20 日	4	相談苦情内容の状況について 利用者の声を聞く取り組みの実施について
3	平成 30 年 1 月 25 日	2	相談苦情内容の状況について 平成 29 年度苦情解決事業取り組み実施結果について

② 「利用者の声を聞く取り組み」苦情相談会の開催状況

回	開催日	対象事業所	聞き取り者・聞き取り利用者数
1	平成 29 年 11 月 2 日	特別養護老人ホーム紫桐苑	苦情相談員 1 名 聞き取り利用者 9 名
		新里デイサービスセンター	
		小規模多機能型居宅介護事業所あすなろ	
2	平成 29 年 11 月 7 日	地域密着型特別養護老人ホーム桐の花	苦情相談員 1 名 聞き取り利用者 6 名
		工房まんさく就労継続支援 (B 型) 事業所	

(5) 事業収入に関する事項

事業所名	目標値	実 績	達成率
特別養護老人ホーム紫桐苑	199,966,000 円	207,615,720 円	103.8%
地域密着型特別養護老人ホーム桐の花	123,630,000 円	131,065,600 円	106.0%
紫桐苑短期入所生活介護事業所	28,882,000 円	32,855,251 円	113.7%
新里デイサービスセンター	43,834,000 円	45,834,403 円	104.5%
新里紫桐会居宅介護支援事業所	9,776,000 円	9,726,090 円	99.4%
小規模多機能型居宅介護事業所あすなろ	68,078,000 円	70,114,541 円	102.9%
工房まんさく就労継続支援 (B 型) 事業所	30,754,000 円	28,867,639 円	93.8%
計	504,920,000 円	526,079,244 円	104.1%

(6) 固定資産に関すること

固定資産の種類	名 称	取得年月日	価 格
建物	エアコン更新	H29. 11. 30	604,800 円
器具及び備品	ICカードリーダー、サーバー	H30. 3. 1	2,036,340 円
ソフトウェア	人事労務管理ソフト	H30. 3. 1	2,147,040 円

(7) 会議・委員会開催状況

会議・委員会名	内 容	開催数
運営統括会議	各施設・事業所の運営全般に関すること。職員処遇に関する こと等を検討し決定する。	50 回
苦情解決事業連絡会議	各施設・事業所に寄せられた苦情・要望等を確認し、改善へ の方策を検討する。	3 回
入所検討委員会	特別養護老人ホームの入所申込者の受付状況の確認と入所 申込者待機順位リストを決定する。	4 回

会議・委員会名	内 容	開催数
運営連絡会議	法人全体の円滑な事業運営及びサービスの質向上を目指すために、管理統括者からの方針・指示事項を受け、また、各事業所の運営動向を確認しつつ、リーダー職における意思の統一を図る。各施設・事業所の実績報告、サービスや取り組みの報告、事務局の報告、委員会の活動報告、事業運営における方針及び指示、情報の交換等。	12回
職員互助会	職員の福利厚生全般に関すること。	4回
安全衛生委員会	労働者の危険防止・労働災害に関すること。労働者の健康障害防止・健康増進に関すること。	11回
危機管理委員会	法人及び各事業所の非常災害対策に関すること。防犯対策に関すること。除雪対策に関すること。	8回
感染症管理委員会	感染症及び食中毒の予防・まん延防止の対策に関すること。感染症対策の研修に関すること。	5回
広報委員会	法人の広報活動に関すること。(ホームページ、広報誌、広報物、パンフレット)	4回
職員研修委員会	職員研修の企画・実施に関すること。職員の資質向上に関すること。	7回
サービス向上委員会	サービス自己評価に関すること。各種マニュアルの点検・整備に関すること。	3回
相談支援連携会議	サテライト及び併設事業所として各事業所間の連携体制の構築。相談支援業務を円滑に推進するためにスーパービジョンによる管理的・教育的機能体制の構築。	12回
看護職部会	利用者の健康管理に関する連携を持つ。医療機関との連携体制を持つ。スーパービジョンによる管理的・教育的機能体制の構築。	14回
介護支援専門員部会	介護支援専門員としての機能を高めるための情報交換。スーパービジョンによる管理的・教育的機能体制の構築。	3回

(8) 重点事項に関すること

① 経営基盤の安定

財政・経営基盤の強化及び事業運営の安定化を図るため、大沢会計事務所の会計訪問指導を毎月1回実施、監事監査を4回実施し、適正な会計処理、確実な財産管理に努めるよう改善を図りました。

② サービス提供の充実

利用者及び家族の視点に立つことを常に意識して、人権の尊重・個人の尊厳に配慮しながら、必要なサービスが提供できるよう努めました。

③ 地域福祉の拠点としての役割とその使命

各関係機関・団体との相互協力を随時行い連携の強化・維持を図り、また、地域行事や会合等に参加し、地域とのつながりを大切にしながら連携を図ってきました。

また、地域公益活動「IWATE・あんしんサポート事業」の取り組みについては、県内の社会福祉法人が連携・協力し、制度の狭間にいる方々の自立を支援する新たなセーフティネットを構築するほか、アウトリーチを伴う活動によって地域の福祉課題の把握と解決に向けて活動を進めています。当法人では相談員を2名配置し、事業運営のための特別会費として年額50,000

円を拠出しました。なお、29年度での相談対応事例は発生しませんでした。宮古市社会福祉協議会を中心に管内法人間での事例検討会を開催し、連携を図りつつ支援への取り組みを進めてきました。

社会福祉法人等による生活困難者に対する利用者負担軽減事業については、デイサービス利用者132名、短期入所利用者34名、計166名に対して利用者負担軽減額331,002円を拠出しました。

④ 人材確保とその育成

29年度の職員採用及び退職状況は、新規採用者13名、再雇用者1名、自己都合退職2名、定年退職1名でした。前年度に比べ10名職員増となりました。今後より一層介護サービスの提供体制を充実させていくためにも、引き続き人材の確保への取り組みに努めてまいります。

職員の育成については、日々の業務においてより良いサービス提供のための各種委員会・会議を通じた取り組みを行い、外部研修への参加や内部研修会を年間計画に基づき実施しました。また、介護福祉士等の資格取得を奨励し、参考図書購入費への援助、業務上の配慮を行いました。29年度資格取得者は、介護福祉士3名でありました。

⑤ 社会福祉充実計画（1か年目）について

職員処遇改善事業については、介護職員以外（処遇改善手当の支給対象外職員）の職員に対して、一時金5万円総額2,450,000円を支給し、職員の処遇改善を図りました。

職員育成事業については、全国団体の研修に職員2名を参加させました。また、外部講師を招聘して法人全体研修を4回実施し、職員の資質向上に努めました。事業費は479,520円（外部研修費253,800円、内部研修費225,720円）でありました。

⑥ 危機管理体制の強化について

各事業所における防災訓練は、計画どおり実施し、災害発生時の迅速な通報、避難誘導は迅速かつ的確に対応ができるよう、危機管理委員会が中心となり全職員の防災意識と行動力の向上に努めてきました。

3 年間事業報告

年月日	概況
平成29年	
4月 3日	平成29年度入職式・辞令交付式
5日	新里中学校入学式出席（三浦施設長）
6日	産業医巡視（紫桐苑、新里デイサービス、桐の花）
7日	新里小学校入学式出席（三浦施設長）
11日	宮古地区優良勤労青少年表彰式（被表彰者；久保田知佳介護福祉士）
13日	運営連絡会議
19日	職員採用試験（調理補助員1名採用）
21日	職員採用試験（介護員1名採用）
24日	会計訪問指導（大沢会計事務所）
27日	第1回苦情解決事業連絡会議 第1回入所検討委員会
5月 2日	新採用者辞令交付式（正規職員2名、臨時職員1名）
9日	会計訪問決算指導（大沢会計事務所）
11日	運営連絡会議 産業医巡視（あすなろ、工房まんさく）
13日	新里中学校体育祭出席（三浦施設長）
18日	第1回監事監査（平成28年度会計決算監査） 第1回職員スキルアップ勉強会「接遇・コミュニケーション」
19日	新入職員内部研修（座学）
20日	新里小学校運動会入所者見学
25日	職員採用試験（介護補助員1名採用）
26日	第1回理事会 新入職員内部研修（座学）
30日	職員互助会総会
6月 7日	宮古労働基準監督署立入調査
8日	運営連絡会議

年月日	概況
6月 9日	産業医巡視
	職員互助会事業「新会員歓迎会」
13日	第1回評議員会（定時評議員会）
	第2回理事会
14日	職員採用面接試験（介護補助員1名採用）
21日	職員採用面接試験（介護員1名採用）
27日	会計訪問指導（大沢会計事務所）
	宮古市立新里小学校施設見学受入（4年生16名）
7月 5日	入所者健康診断実施
6日	新規学校卒業予定者求人・求職情報交換会出席（澤口所長）
12日	入所者健康診断実施
13日	運営連絡会議
14日	職員互助会事業「スポーツ交流会」
18日	男女共生推進センターサークル団体来訪（つむぎ会、なでしこの会）
	職員健康診断実施
19日	入所者健康診断実施
20日	第2回職員スキルアップ勉強会「個人情報保護・守秘義務」
24日	岩手県立宮古商業高等学校インターシップ受入（3名）
25日	岩手県立宮古商業高等学校インターシップ受入（3名）
26日	岩手県立宮古商業高等学校インターシップ受入（3名）
	会計訪問指導（大沢会計事務所）
	入所者健康診断実施
28日	第2回入所検討委員会
8月 3日	青山学院女子短期大学来訪（ハワイアンダンス披露）
4日	納涼祭開催
8日	宮古市立新里中学校ボランティア活動受入（施設内外の清掃活動）
9日	運営連絡会議
10日	産業医巡視（紫桐苑、新里デイサービス、桐の花）
20日	茂市熊野神社例大祭の子供神輿・黒森神楽来訪
24日	第2回監事監査
29日	宮古市立新里中学校福祉体験学習職員講師派遣（2名）
31日	会計訪問指導（大沢会計事務所）
9月 6日	宮古市立新里中学校福祉体験学習職員講師派遣（7名）
7日	産業医巡視（あすなろ、工房まんさく）
11日	宮古職業訓練協会訓練生事業所見学受入
12日	宮古市立新里小学校福祉体験教室職員派遣（3名）
14日	職員採用試験（介護員1名採用）
	運営連絡会議
20日	宮古市立新里中学校福祉体験学習受入（3年生14名）
	会計訪問指導（大沢会計事務所）
21日	宮古市立新里中学校福祉体験学習受入（3年生14名）
	敬老会開催
	第3回スキルアップ勉強会（「メンタルヘルス・結核」講師：宮古保健所職員）
28日	介護保険施設等の実地指導及び社会福祉施設指導監査（沿岸広域振興局）
10月 5日	産業医巡視（紫桐苑、新里デイサービス、桐の花）
12日	運営連絡会議
14日	宮古市立新里小学校学習発表会入所者見学
15日	南川目さんさ踊り保存会来訪（踊り披露26名）
19日	宮古市立新里保育所との交流会
20日	第2回苦情解決事業連絡会議
	第3回入所検討委員会
26日	職員採用試験（介護員1名、生活支援員1名採用）

年月日	概況
10月29日	バンド「十八番街」来訪（バンド演奏4名）
30日	会計訪問指導（大沢会計事務所）
11月1日	第70回岩手県社会福祉大会出席「永年勤続功労表彰」（和美理事、藤村理事） 産業医巡視（あすなろ、工房まんさく）
2日	苦情解決事業「第1回利用者の声を聞く取り組み」実施（調査員：後藤評議員）
4日	国道340号整備促進住民総決起大会出席（役職員9名）
5日	盛岡さんさ伝承もいち来訪（踊り披露14名）
7日	苦情解決事業「第2回利用者の声を聞く取り組み」実施（調査員：岸監事）
9日	運営連絡会議 第4回職員スキルアップ勉強会（インフルエンザと感染予防、ノロウイルスと吐物処理）
10日	第3回監事監査
20日	第3回理事会
23日	宮古市社会福祉大会出席（職員3名）
28日	宮古市立新里小学校交流学习受入（4年生16名） 第2回評議員会
29日	会計訪問指導（大沢会計事務所） 高校生しごとメッセIN宮古「事業所紹介」参加（職員3名）
12月7日	宮古市立新里保育所との交流会 第1回法人職員全体研修会、第2回法人職員全体研修会 産業医巡視（紫桐苑、新里デイサービス、桐の花）
14日	運営連絡会議
20日	宮古市保健福祉部福祉課法人指導監査
26日	宮古市立新里中学校生徒ボランティア受入
平成30年	
1月6日	新里地区新年交賀会出席（役職員7名）
11日	運営連絡会議 産業医巡視（あすなろ、工房まんさく）
12日	みやこ合同就職面談会出席（川崎副施設長）
16日	第1回口腔ケア研修会（講師；宮古市国民健康保険新里診療所歯科医師）
23日	第2回口腔ケア研修会（講師；宮古市国民健康保険新里診療所歯科医師）
25日	第3回苦情解決事業連絡会議 第4回入所検討委員会
26日	第3回法人職員全体研修会、第4回法人職員全体研修会
30日	会計訪問指導（大沢会計事務所）
2月1日	産業医巡視（紫桐苑、新里デイサービス、桐の花）
2日	職員採用試験（介護員1名、調理員1名採用）
7日	第3回口腔ケア研修会（講師；宮古市国民健康保険新里診療所歯科医師）
13日	運営連絡会議 第4回口腔ケア研修会（講師；宮古市国民健康保険新里診療所歯科医師）
15日	宮古市立新里小学校「感謝の会」出席（川崎副施設長）
16日	第4回監事監査
22日	沿岸広域振興局「宮古地域介護保険施設等集団指導」出席（2名）

27日	会計訪問指導（大沢会計事務所）
3月13日	青山学院女子短期大学来訪（ハンドベル演奏20名）
15日	運営連絡会議
16日	宮古市立新里小学校卒業証書授与式出席（三浦施設長）
20日	第4回理事会
28日	第3回評議員会
29日	会計訪問指導（大沢会計事務所）

平成 29 年度特別養護老人ホーム紫桐苑事業報告書 (紫桐苑短期入所生活介護事業所含)

特別養護老人ホーム紫桐苑においては、入所者一人ひとりの人権と生活を尊重し、「自分らしい生活」を実現するための支援が施設サービスの基本と位置付けて取り組みました。

また、事業の実施にあたっては、地域における介護施設としての存在と役割を認識し、基本的な支援の水準を常に維持すること、地域及び地域住民との親しみある関係を築くこと、福祉人材の育成に寄与することが総合的に果たせることを目指して取り組みを進めてきました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

(2) 事業規模

特別養護老人ホーム : 定員 50 名

短期入所生活介護 : 定員 10 名

2 事業の実施状況

(1) 生活支援

① 食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めることから、利用者への嗜好調査を実施して得られた意向を反映しつつ、個々の食形態や健康状態に応じた栄養管理をもって健康に過ごせるよう努めました。また、安全な食事を提供するために調理環境の衛生保持に努め、調理職員の細菌検査、厨房内消毒を月 1 回実施しました。

② 入浴

入浴回数は、原則として一人につき週 2 回行い、更に本人の希望により入浴できるよう月曜日から土曜日まで入浴を実施しました。また、体調の都合で入浴できない場合においては清拭を行うことで衛生保持に努めました。

③ 排泄介助

おむつ交換は、定時交換 4 回及び随時の個別確認、ケアコール対応により実施しました。

④ 自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切にし、本人の意思や意向を確認しつつ、自由で自分らしい生活が送れるよう、声掛けをもってサポートすることに努めました。

⑤ 施設内行事・余暇活動

施設における人と人のふれあいの場として、毎月の誕生会、節句や季節に応じた諸行事を実施しました。また、意向調査を行い、利用者の意向を踏まえつつ身体機能の維持増進に役立つ趣味活動を考え、週 2 回のペースで活動を実施しました。

⑥ 身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとでケアに取り組むことができました。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおいては、定期的な検証と経過観察をもって対応することに努めました。

⑦ 事故防止・リスク軽減

施設で起こりうる事故を未然に防ぐための定期的な会議をもち、また、発生した事象については、再発防止のための早急な対策会議をもって利用者の事故・リスク軽減に取り組みました。

(2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるように定期的（半年ごと）なケア会議をもち、入所者家族と多職種間の連携をもって取り組みました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケア会議	4	9	12	10	8	7	8	8	9	13	8	6	102

(3) 健康管理

入所者一人ひとりの心身共に健康で充実した日常生活が送れるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師による回診（週1回）、健康検診（年1回）、を実施して健康管理を行いました。また、インフルエンザの流行期は、入所者・職員に予防接種を実施、面会者に対してもうがい、手洗いの励行等を強化し、更にマスクの着用をもって感染症対策を行いました。

実施日	健康検診概要
5月8～19日 (14日)	入所者歯科検診実施（47名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
7月5、12、19、26日、 10月25日	入所者健康診断実施（51名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
11月1、8、15、22日、 12月6、27日	入所者インフルエンザ予防接種実施（49名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※職員インフルエンザ予防接種実施 11月9日～27日

(4) 口腔ケアの推進

入所者個々の口腔内状態の維持及び向上、誤嚥性肺炎予防・感染症予防ならびに口臭を防止することを目的とし、新里診療所歯科医との連携をもって食前・食後の口腔ケアに努めました。連携して取り組んだ内容としては、入所者全員の歯科検診（年1回）、歯科衛生士の個別指導による口腔ケア（週1回、計41回）を実施しました。

(5) 生活環境への配慮・衛生管理

各種介護器具の安全点検を定期的実施し、より安全に生活できる環境の整備を図りました。また、施設内の装飾や掲示物の工夫をもって、楽しみある景観作りに努めました。施設内の除菌・脱臭のため、オゾン除菌脱臭機による、くん蒸消毒を月1回実施しました。

(6) 会議

施設の運営及び管理、支援に対する方針の統一を図るため、各種の会議体を設置し、定期的な検証と検討をもって事業の推進を図りました。また、法人各事業所の職員で委員会を構成し、労働災害対策、危機管理、感染症対策、広報活動、内部研修、サービス評価については法人単位で取り組みました。

(7) 専門組織及びチーム活動

各職種の代表により入所者の生活支援の向上と充実を図るため、事故防止検討委員会、感染症管理委員会、身体拘束廃止委員会、口腔ケア計画委員会等の活動を展開しました。また、介護係における諸課題の解決、グループケアの推進を図るため、口腔ケア担当、行事・レク担当、事故・ヒヤリ防止担当、ショート担当、介護用品等管理担当のチームでの活動も展開しました。

(8) 職員研修

介護支援の向上や援助等に関する基礎知識の習得のため、施設内での内部勉強会を延べ14回実施しました。また、外部で開催された研修会へ56回、延べ68名が参加しました。

実施日	内部研修概要
5月18日	第1回スキルアップ勉強会「接遇・コミュニケーション」
5月19、26日	新人職員研修「法人のサービス概要等」
7月20日	第2回スキルアップ勉強会「個人情報保護・守秘義務」
9月21日	第3回スキルアップ勉強会「メンタルヘルス・結核」 外部講師；宮古保健所職員
11月9日	第4回スキルアップ勉強会「インフルエンザと感染予防、吐物処理実習」
12月7日	法人全体研修「接遇」 外部講師；AIビジネス 中村氏 同日に2回開催
1月26日	法人全体研修「接遇」 外部講師；AIビジネス 中村氏 同日に2回開催
1月、2月	口腔ケア研修 外部講師；宮古市国民健康保険新里診療所歯科医師 計4回開催

(9) 防災対策

火災予防のため、また、自然災害の発生時に入所者と職員が一体となって行動が取れるよう防火・防災対策を計画し、編成している自衛消防隊により避難訓練を実施しました。当該年度においては、火災と地震を災害想定としたが、台風10号被害の経験を風化させないためにも、今後の防災対策では、大雨と河川氾濫時の対応を訓練内容に盛り込んでいくこととします。

実施日	避難訓練概要
9月8日	第1回自衛消防避難訓練（地震及び火災想定、初期消火訓練） 宮古消防署新里分署立会い
3月16日	第2回自衛消防避難訓練（火災想定） 宮古消防署新里分署立会い

(10) 交流・ボランティア及び実習の受入れ

地域住民とのふれあいや交流の機会がもてるように努めました。具体的には、新里保育所との定期的な交流、新里地区の小中学校との交流、慰問者の受入れ、職場体験の受入れ、地域行事への参加や見学等を行いました。

実施日	行事概要	実施日	行事概要
5月20日	新里小学校大運動会見学(新里小学校)	9月20日	新里中学校福祉体験学習受入(紫桐苑) 2日間
6月27日	新里小学校4年生施設見学(紫桐苑)	9月21日	敬老会開催(紫桐苑・デイサービス合同)
7月18日	男女共生推進センターサークル団体慰問(紫桐苑)	10月13日	高校生の職場見学受入(紫桐苑)
7月24日	宮古商業高校生インターシップ受入(紫桐苑) 3日間	10月14日	新里小学校学習発表会見学(新里小学校)
8月3日	青山学院女子短期大学ハワイアンダンス慰問(紫桐苑)	10月15日	新里まつり見学(行事会場)
8月4日	納涼祭開催(紫桐苑、桐の花)	10月15日	南川目さんさ踊り団体慰問(紫桐苑)
8月8日	新里中学校ボランティア活動受入(紫桐苑)	10月29日	バンド演奏団体慰問(紫桐苑)
8月20日	茂市熊野神社例大祭神輿来苑(紫桐苑)	11月5日	盛岡さんさ伝承会もいち慰問(紫桐苑)
9月5日	資生堂「いきいき美容教室」実施(紫桐苑)	11月28日	新里小学校4年生交流学習(紫桐苑)
9月6日	新里中学校福祉体験学習講師派遣(新里中学校)	12月7日	新里保育所交流会(紫桐苑)
9月11日	宮古職業訓練協会訓練生施設見学(紫桐苑)	12月26日	新里中学校ボランティア活動受入(紫桐苑)
9月12日	新里小学校福祉体験教室講師派遣(新里小学校)	3月13日	青山学院女子短期大学ハットベル慰問(紫桐苑)

○不在者投票の実施状況

実施日	不在者投票概要
6月22日	宮古市長選挙及び宮古市議会議員補欠選挙 投票実施者11名
10月17日	第48回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査 投票実施者4名

3 利用者の状況

(1) 紫桐苑長期入所者

① 年齢状況

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男	0	2	2	1	1	3	2	0	0	11
女	0	0	0	2	6	14	8	9	0	39
計	0	2	2	3	7	17	10	9	0	50
比率(%)	0.0	4.0	4.0	6.0	14.0	34.0	20.0	18.0	0.0	100.0
平均男性 80.5歳 平均女性 88.9歳 全体平均 87歳 最高 99歳 最低 67歳										

② 在所期間状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計
男	2	3	3	3	0	0	11
女	4	12	12	5	4	2	39
計	6	15	15	8	4	2	50
比率(%)	12.0	30.0	30.0	16.0	8.0	4.0	100.0
平均男性 3年7ヶ月 平均女性 5年 全体平均 4年8ヶ月 最高男性 9年10ヶ月 最高女性 24年11ヶ月							

③ 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者	男	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	女	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
退所者	男	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
	女	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
月末 在所者数	男	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	—
	女	38	37	38	38	38	38	38	38	38	38	39	39	—
	計	50	49	50	50	50	50	50	50	50	49	50	50	—
退所者の平均在所期間 3年9ヶ月														

④ 新規入所者の入所前状況

	男	女	計
自宅	1	1	2
医療機関	1	2	3
老健他	0	1	1
計	2	4	6

⑤ 退所者の退所後状況

	男	女	計
死亡	2	3	5
長期入院	0	0	0
計	2	3	5

⑥ 介護度区分状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	1	5	5	11
女	0	0	6	17	16	39
計	0	0	7	22	21	50
平均男性 4.4 平均女性 4.3 全体平均 4.3						

⑦ 面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面会者	123	186	135	170	222	157	155	142	141	102	0	94	1,627

⑧ 苦情受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
苦情等	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3

(2) 紫桐苑短期利用者

① 利用状況

	利用者数	最高齢	最年少	平均
男	15	95歳	70歳	87.6歳
女	71	101歳	67歳	88.1歳
計	86	—	—	88.0歳

実施日数	365日
利用者延人数	3,106人
1日あたりの利用者数	8.5人

② 介護度区分状況

	男	女	計
要支援1	0	0	0
要支援2	1	1	2
要介護1	1	6	7
要介護2	3	16	19
要介護3	5	25	30
要介護4	4	17	21
要介護5	1	6	7
計	15	71	86

平成 29 年度地域密着型特別養護老人ホーム桐の花事業報告書

桐の花の事業運営については、入居者の方々が住み慣れた地域でこれまでの生活を継続し、家庭的な雰囲気の中で、可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、入居者一人ひとりのプライバシーや尊厳を重視し、施設サービス計画に基づき個別ケアの実践に努めました。また、地域社会に開かれ、地域に根ざした施設の運営を行うべく取り組みました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

ユニット型地域密着型介護老人福祉施設

(2) 事業規模

定員 29 名 ユニット区分 [こもればい 10 名・ぬくもり 9 名・やすらぎ 10 名]

2 事業の実施状況

(1) 生活援助

① 食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めるものであることから、楽しんで食事ができ、かつ、個々の状況に応じた栄養管理をもって、より健康に過ごせるよう努めてきました。また、ユニット内でご飯・味噌汁を作ることにより、食事を準備する音や匂いで家庭的な雰囲気を演出したり、入居者に盛り付けや下膳の手伝いをさせていただくことにより、入居者の生きがいの創出ができるよう取り組みました。

② 入浴

入浴回数は一人につき週 2 回行い、さらに本人の希望により入浴できるよう毎日入浴を実施しました。また、個浴での対応を基本として、プライバシーに配慮しゆっくり入浴を楽しんでもらえるよう心掛けました。個浴での対応が困難な方においては特別浴にて対応し、移乗の際は 2 人介助で対応するなど、安全に安心して入浴ができるよう努めました。体調不良などで入浴できない時は清拭を行うことで衛生保持に努めました。

③ 排泄介助

排泄リズムの把握をし、一人ひとりに合った排泄介助の検討を行い、入居者がより快適に過ごすことができるよう努めました。

④ 自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切にし、本人の意思を確認しながら支援に努めました。また、入居者が自由で自分らしい生活が送れるよう、声掛けや行いたいことのサポートをすることに努めました。

⑤ 施設内行事・余暇活動

人と人とのふれあいの場として、喫茶店「こびり」の営業、ユニット毎に誕生会、節句や季節に応じた諸活動を行いました。また、趣味と身体機能の維持増進を図ることを目的に、体操・手芸、カラオケなどのサークル活動を行いました。

⑥ 身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとケアに取り組みました。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおいては、定期的な検証と経過観察をもって対応することに努めました。

(2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるように定期的(3ヶ月～半年毎)なケア会議(63回)をもち、入居者家族と多職種間の連携をもって取り組んできました。

(3) 健康管理

入居者一人ひとりが心身共に健康で充実した日常生活が送れるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師による回診(週1回・計48回)、健康検診(9/6・13・20)、歯科検診(5/22～26・29)、口腔ケア指導(週1回・計40回)を実施して健康管理を行いました。また、インフルエンザの流行時は、入居者・職員に対し予防接種を実施し(11月)、面会者に対してもうがい、手洗いの励行等を強化し、更にマスクの着用をもって感染症対策に努めました。

(4) 生活環境への配慮・衛生管理

居室は、プライベートスペースとして気兼ねなくゆっくり過ごしていただけるよう配慮に努めると共に、入居者同士の交流の場やご家族の方とのひとときの場としてセミパブリックスペースを設け、入居者に適した生活環境の整備を図りました。また、施設内の装飾や掲示物の工夫をもって楽しみある景観作りに努めました。

(5) 会議開催状況

施設の管理・運営や援助の方針の統一化を図るため、運営連絡会議(12回)、苦情解決事業連絡会議(3回)、ユニット会議(3回)、口腔ケア相談会議(2回)を開催しました。また、地域に開かれた施設運営とサービスの質の確保を目的に地域代表者等を委員とし、運営内容について地域から広く意見・助言を求め、運営推進会議(6回)を開催しました。

(6) 専門組織開催状況

本体施設である紫桐苑と連携し、各職種の代表の参加により入居者の生活援助の向上と充実を図るため、サービス向上委員会(3回)、入所検討委員会(4回)、事故防止検討委員会(3回)、感染症管理委員会(5回)、身体拘束廃止委員会(6回)の活動を展開しました。

(7) 職員研修

援助技術の向上や援助等に関する基礎知識の習得のため、内部研修を16回(87名参加)実施、外部研修に7回(13名参加)参加しました。また、先進施設視察研修を3回(19名参加)実施しました。

月	日	研修区分	研修内容	参加人数
5	9	内部研修	紙おむつ勉強会	11
	18	法人内部研修	第1回職員スキルアップ勉強会「接遇・コミュニケーション」	17
7	20	法人内部研修	第2回職員スキルアップ勉強会「個人情報保護・守秘義務」	2
8	28	外部研修	いわてユニットケア研究会(花巻市)～29	2
9	8	内部研修	ポジショニング・シーティング講座:外部講師(株)サンメディカル、(株)ライフステップサービス	10
	21	法人内部研修	第3職員スキルアップ勉強会「メンタルヘルス・結核」外部講師:宮古保健所	4
10	18	外部研修	第1班先進施設視察研修視察先:「特別養護老人ホームらふたあヒルズ」「地域密着型特別養護老人ホームサンホーム絆」	7
	24	外部研修	岩手県介護支援専門員更新研修(盛岡市)～26	1
	27	外部研修	生活相談員研修(盛岡市)	1
11	7	外部研修	第2班先進施設視察研修視察先:「地域密着型特別養護老人ホームサンホーム絆」	6
	9	法人内部研修	第2回職員スキルアップ勉強会「感染症」外部講師:(株)バイタルネット宮古支店、中外製薬(株)北東北支店	4
	13	外部研修	第3班先進施設視察研修視察先:「特別養護老人ホームらふたあヒルズ」「地域密着型特別養護老人ホームサンホーム絆」	6

月	日	区 分	研 修 内 容	参加人数
11	17	内部研修	介護機器説明会：外部講師（株）サンメディカル	4
	30	外部研修	いわてユニットケア研究会（盛岡市）	1
12	5	外部研修	第4班先進施設視察研修 視察先：「特別養護老人ホームらふたあヒルズ」	6
	7	法人全体研修	第1回接遇研修：外部講師 AI ビジネス 中村夢美子氏	7
	7	法人全体研修	第2回接遇研修：外部講師 AI ビジネス 中村夢美子氏	5
	13	外部研修	介護支援専門員更新研修（盛岡市）～14	1
1	26	法人全体研修	第1回接遇研修：外部講師 AI ビジネス 中村夢美子氏	5
	26	法人全体研修	第2回接遇研修：外部講師 AI ビジネス 中村夢美子氏	6
2	7	内部研修	口腔ケア研修：外部講師 新里診療所米澤歯科医師	3
	9	内部研修	第1回入居者生活体験（車イスに座り入居者として生活体験）	1
	13	内部研修	口腔ケア研修：外部講師 新里診療所米澤歯科医師	5
	15	内部研修	第2回入居者生活体験（車イスに座り入居者として生活体験）	1
	21	内部研修	第3回入居者生活体験（車イスに座り入居者として生活体験）	1
3	2	内部研修	KYT（危険予知訓練）研修会	4
	19	外部研修	介護報酬改定等に係る説明会（盛岡市）	1

（8）防災対策

災害発生時に入居者と職員が一体となって行動がとれるように防火・防災対策、水害・土砂災害対策を計画し、夜間・日中を想定した避難訓練等を実施しました。

月	日	内 容
5	23	第1回自衛消防訓練（初期消火訓練、台風10号災害時の現場視察）
6	8	消防設備保守点検（株式会社ダイトク）
	9	新里消防署立入検査
7	25	第2回自衛消防訓練（日中・浸水土砂災害想定避難訓練）
9	11	消防設備改修工事
11	10	第3回自衛消防訓練（スモークマシーン・初期消火訓練）
3	6	第4回自衛消防訓練（夜間想定避難訓練）

（9）交流・ボランティアの受入れ

地域行事への参加や小中学校・保育所との交流会やボランティアの受け入れを行い、地域の方々との交流の機会がもてるよう努めました。また、地域開放の取り組みとして地域の団体へ会議室や地域交流スペースを開放する取り組みを行いました。

月	日	団 体 名	区 分	主な活動内容
4	20	カフェいっぷく（介護予防世代間交流事業）	地域開放	地域交流スペースを利用

月	日	団 体 名	区 分	主な活動内容
5	18	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
6	15	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
7	20	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
8	3	青山学院女子短期大学	受入	ハワイアンダンス披露
	8	宮古市立新里中学校	受入	清掃活動受け入れ 16 名
	17	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
	29	宮古市立新里中学校	職員派遣	疑似体験事前学習講師 1 名派遣
9	6	宮古市立新里中学校	職員派遣	疑似体験学習講師 2 名派遣
	12	宮古市立新里小学校	職員派遣	疑似体験学習講師 1 名派遣
	20	宮古市立新里中学校	受入	職場体験受入 4 名
	21	宮古市立新里中学校	受入	職場体験受入 4 名
	21	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
10	19	宮古市立新里保育園	受入	園児とのふれあい交流会
	19	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	会議室を利用
11	16	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
12	21	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
	25	新里地区民生児童委員協議会	地域開放	会議室を利用
	26	宮古市立新里中学校	受入	清掃活動受け入れ 8 名
1	24	新里地区民生児童委員協議会	地域開放	会議室を利用
2	22	新里地区民生児童委員協議会	地域開放	会議室を利用
3	13	青山学院女子短期大学	受入	ハンドベル演奏
	14	新里地区認知症カフェ「かだってカフェ」	地域開放	地域交流スペースを利用
	15	カフェいっぷく (介護予防世代間交流事業)	地域開放	地域交流スペースを利用
	28	新里地区民生児童委員協議会	地域開放	会議室を利用

(10) 主な年間活動状況

月	日	活 動 等	月	日	活 動 等
4	11 18 25	体操サークル 喫茶「こびり」 手芸サークル	10	1 4 11 14 15 19 21 25	桐の花通信発行 体操サークル カラオケサークル 新里小学校学習発表会見学 新里祭り見学 新里保育所交流会 玄翁館祭手芸作品出品～22 手芸サークル
5	2 11 16 20 30	体操サークル カラオケを楽しむ会 喫茶「こびり」 新里小学校運動会見学 手芸サークル	11	2 9 16 22	体操サークル カラオケサークル 喫茶「こびり」 手芸サークル
6	1 6 13 27	桐の花通信発行 体操サークル 喫茶「こびり」 手芸サークル	12	1 6 12 21 28	桐の花通信発行 カラオケサークル 体操サークル クリスマス会食会 手芸サークル、第2回作品展示会～1/15
7	4 27	体操サークル 手芸サークル	1	9 12 13 14	体操サークル 水木団子づくり（こもれび） 水木団子づくり（ぬくもり） 水木団子づくり（やすらぎ）
8	1 4 8 10 13 20 26 29	桐の花通信発行 納涼祭 体操サークル 第1回手芸サークル作品展示～25 迎え火・花火大会 熊野神社例大祭神輿見学 流しそうめん 手芸サークル	2	3 6 13 20	節分 体操サークル カラオケサークル
9	6 13 15 20 21 27	体操サークル カラオケサークル 敬老会 体操サークル ラーメンの会 喫茶「こびり」	3	1 3 13 20 27	桐の花通信発行 ひなまつり カラオケサークル 体操サークル カラオケサークル

3 利用者の状況

(1) 年齢状況

区分	~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	計
男	0	0	2	1	3	1	0	0	0	7
女	0	0	0	1	3	7	6	5	0	22
計	0	0	2	2	6	8	6	5	0	29
比率 (%)	0.0	0.0	6.9	6.9	20.7	27.6	20.7	17.2	0.0	100.0
平均年齢〔男性 81 歳 女性 89.4 歳 全体 87.1 歳〕 最高年齢 98 歳 最低年齢 73 歳										

(2) 在所期間状況

区分	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 10 年未満	計
男	2	1	4	7
女	3	4	15	22
計	5	5	19	29
比率 (%)	17.2	17.2	65.5	100.0
平均在所期間〔男性 3 年 5 ヶ月 女性 3 年 7 ヶ月 全体 3 年 7 ヶ月〕				
最高在所期間 男性 5 年 女性 5 年				

(3) 入退所状況

区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規 入所者数	男	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
退所者数	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
月 末 在所者数	男	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	7	7	—
	女	22	22	20	20	21	21	21	21	21	21	21	22	—
	計	29	29	27	28	29	29	29	29	29	29	28	29	—
退所者の平均在所者数〔3 年 10 ヶ月〕														

(4) 入所前の状況

区分	男	女	計
自宅	0	14	14
医療機関	1	0	1
老健他	6	8	14
計	7	22	29

(5) 退所後の状況

区 分	男	女	計
死 亡	1	3	4
長期入院	0	0	0
在宅復帰	0	0	0
計	1	3	4

(6) 介護区分状況

区 分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	1	3	3	7
女	0	1	5	10	6	22
計	0	1	6	13	9	29
比率 (%)	0.0	3.4	20.7	44.8	31.0	100.0
平均介護度 [男性 4.3 女性 4.0 全体 4.0]						

(7) 面会状況

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
家 族	30	55	30	43	53	35	50	43	34	29	2	18	422
その他	7	8	1	5	2	4	3	2	5	2	0	3	42
計	37	63	31	48	55	39	53	45	39	31	2	21	464

(8) 要望・苦情・相談状況

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要 望	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
苦 情	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
相 談	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
計	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	6

平成 29 年度新里デイサービスセンター事業報告書

新里デイサービスセンターは、利用者の意思及び人格を尊重し、かつ、その方の状態に応じ必要な生活支援（食事・入浴・レクリエーション活動）及び機能訓練等の通所介護サービスを実施しました。そのことを通して、利用者においては心身機能の維持増進や生きがいと喜びのある生活習慣の持続を、また、家族等の介護者にとっては在宅介護における身体的・精神的な軽減が図れることを目指して取り組みました。なお、平成 29 年度から介護予防サービスにおける介護予防通所介護が総合事業としての介護予防・生活支援サービス事業へ移行となりました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

指定通所介護事業

介護予防・生活支援サービス事業（国基準通所型サービス）

(2) 事業規模

通所介護：定員 25 名

2 事業の実施状況

(1) 生活支援

① 食事

利用者に楽しんで食事をしてもらうための雰囲気作りに配慮し、栄養バランスと個別の状態に応じた食事内容の提供に努めました。また、食事における飲み込む機能の維持、向上に向けた取り組みとしては食事前の口腔体操を実施しました。

② 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対しては必要に応じた介助を行い、また、着替え等の衣類や持ち物に配慮し、気持ちよく入浴ができるよう努めました。なお、入浴の前には健康状態の確認や観察をもって身体への配慮を徹底しました。

③ 行事・余暇活動

利用者にサービス提供時間を楽しく過ごしてもらうため、昼食後には余暇活動を実施しました。活動内容としては、趣味的なことから、リハビリ体操や創作活動など、日常生活動作の機能維持を図る内容となるよう工夫を施しました。また、季節ごとの主な行事として、春には花見、秋には紅葉を楽しむドライブで外出する機会をもちました。また、運動会、敬老会、忘新年会を企画し、利用者に楽しんでいただきました。

月	行事・余暇活動概要	月	行事・余暇活動概要
4月	ADL・IADL 改善体操、踊操、ゲーゴールゲーム、風船ホッケー、ジャンケン風船割りゲーム、ロケットボーリング、花見ドライブ	10月	排泄動作の訓練、踊操、たまご早詰ゲーム、紅葉ドライブ、サイコロゲーム、お掃除リレー、うちわ風船バレー
5月	ADL・IADL 改善体操、踊操、ストラックアウトゲーム、新聞ビリビリゲーム、ボーリング、デイサービス大運動会	11月	ADL・IADL 改善体操、踊操、テーブルカーリング、輪投げゲーム、伝言ゲーム、ゲーゴールゲーム
6月	呼吸リハビリ体操、踊操、立ち上がれWジャンケンゲーム、傘で輪投げゲーム、うちわタック風船バレー、発掘ゲーム	12月	ADL・IADL 改善体操、踊操、らくらくバスケット、スリッパジャンケン、クリスマス忘年会、勝ち上がれジャンケンゲーム
7月	ADL・IADL 改善体操、踊操、スリッパジャンケン、鰻屋さんと焼き鳥屋さんゲーム、輪投げ、バッティングゲーム、テーブルカーリング	1月	生活動作の注意分割体操、踊操、新年会、みずき団子作り、ストラックアウトゲーム、タオルでポンゲーム、銭型平次ゲーム
8月	ADL・IADL 改善体操、踊操、らくらくバスケット、ジャンケン風船割りゲーム、風船橋渡しリレー、グラグラ積み立て競争	2月	生活動作の注意分割体操、踊操、鬼は外・福は内ゲーム、鰻屋さん焼き鳥屋さんゲーム、輪っか拾いゲーム、キックゴールゲーム
9月	ADL・IADL 改善体操、踊操、タオルでポンゲーム、ストラックアウトゲーム、もぐら叩きゲーム、いかだレース、敬老会	3月	生活動作訓練・基本動作の訓練、踊操、輪投げゲーム、コロコロ橋渡しゲーム、エアホッケー、ゲーゴールゲーム

(2) 送迎体制

利用者の送迎においては、体調確認やシートベルトの着用を徹底し、一人ひとりの安全の確保を徹底しました。また、毎日の運行前点検、交通法規の遵守並びに安全運転の励行を徹底しました。

(3) 健康管理・安全への配慮

事業所への到着後には、利用者の健康チェック（体温・血圧測定、体調や服薬の確認）を行い、日々の健康管理について家族や介護者との連携をもって取り組みました。皮膚処置や医療的なケアを必要とされる方に対しては、入浴時等の処置や要観察、ケア計画に基づく対応をもって進めました。また、事業所内での転倒防止等、事故へのリスクを軽減するため、職員間の連携や見守りへの配慮を常に心掛けました。

(4) 会議

サービス内容と業務内容の見直し及び改善を図るため、定期的な所内会議をもって検証し、その検討内容の実行に努めました。また、サービス担当者会議をもって利用者の状態把握とニーズを分析

し、その方に対する必要なサービスのあり方を検討しました。

(5) 職員研修

法人内で実施される職員勉強会への参加、外部への研修会参加をもって職員の資質向上とスキルアップを目指しました。

実施日	職員研修概要
5月18日	[内部] 第1回スキルアップ勉強会「接遇・コミュニケーション」
5月25日	[内部] 所内勉強会「サービス利用における留意点」
7月20日	[内部] 第2回スキルアップ勉強会「個人情報保護・守秘義務」
8月1日他	[外部] 介護福祉士基本研修会（延べ4日開催）職員1名派遣
8月24日	[内部] 所内勉強会「障がい者雇用について」
9月7、8日	[外部] 東北ブロック老人福祉施設研究会 職員1名派遣
9月21日	[内部] 第3回スキルアップ勉強会「メンタルヘルス・結核」
11月9日	[内部] 第4回スキルアップ勉強会「インフルエンザと感染予防、吐物処理実習」
12月7日	[内部] 法人全体研修 「接遇」
1月26日	[内部] 法人全体研修 「接遇」

(6) 衛生管理

定期的な浴槽の水質検査、空間の除菌・脱臭のためのくん蒸消毒を実施し、また、業者に依頼している衛生害虫駆除をもって事業所内の感染症対策、衛生管理に日頃から取り組みました。

(7) 防災対策

防災対策として、地震及び火災発生を想定した避難訓練を併設施設である特養紫桐苑と合同で実施し、有事における職員の対応と利用者の避難誘導等の訓練を行いました。

実施日	避難訓練概要
9月8日	第1回自衛消防避難訓練（地震及び火災想定）
3月16日	第2回自衛消防避難訓練（火災想定）

(8) 地域交流

紫桐苑と合同で実施した新里保育所との定期交流会や新里中学校の職場体験受入れを通じて、世代間の交流が図られました。また、デイサービス・紫桐苑・桐の花で実施する諸行事を通じて、顔なじみの関係だった方々の交流がなされるよう事業所間で連携して取り組みました。

3 利用者の状況

(1) 登録者の状況

① 年齢状況

	～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～	計
男	1	2	3	1	1	4	5	17
女	0	2	1	2	14	13	21	53
計	1	4	4	3	15	17	26	70
男性：最高95歳 最低62歳 女性：最高98歳 最低67歳 全体平均：85.6歳								

② 介護度区分状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	2	8	3	3	0	17
女	2	0	18	19	6	5	1	53
計	2	0	20	27	9	8	1	70

③ 地域別利用状況

茂市;10名(14%) 暮目;17名(24%) 腹帯;4名(6%) 刈屋;23名(33%) 和井内;16名(23%)

(2) 利用者数

① 通所介護 (実施日数：309日)

年間延べ利用者数	5,183名
1日平均利用者数	16.8名

② 国基準型通所サービス (実施日数：145日)

年間延べ利用者数	218名
1日平均利用者数	1.5名

平成 29 年度小規模多機能型居宅介護事業所あすなろ事業報告書

小規模多機能型居宅介護事業所あすなろは、「ご利用者様のために」「地域のために」「チームあすなろ」を理念に掲げ、その理念の実現に向けて事業を展開しました。

事業の実施にあたっては、利用者がその地域や自宅において可能な限り日常生活を営むことができるよう適正なサービスを提供することを目的とし、また地域社会の一員として、地域住民、関係機関との連携を図りました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

小規模多機能型居宅介護事業

介護予防小規模多機能型居宅介護事業

(2) 事業規模

登録者 : 定員 29 名

泊りサービス : 定員 6 名

通いサービス : 定員 15 名

2 事業の実施状況

(1) 生活援助

① 通いサービス

家庭的な雰囲気の中で、食事・入浴・排泄介助や個別の活動（食事準備、片付け、体操、ゲーム等）を提供しました。また固定された時間ではなく、利用者・家族の状況や希望に合わせた時間でのサービス提供を実施しました。

② 泊りサービス

通い慣れたなじみの場所で安心して宿泊していただけるよう、個々の生活リズムに配慮しながらサービス提供を実施しました。

③ 訪問サービス

通い・泊りサービスと同じなじみの職員が自宅に出向き、排泄介助・生活援助・安否確認等のサービス提供を実施しました。

(2) 地域との交流

地域社会の一員として、あすなろサロン開催をはじめ、地区自治会花見会・忘年会参加、熊野神社祭参加、中学生ボランティア受け入れなど様々な形で地域との交流に努めました。

(3) 会議

① 職員会議、個別処遇会議（ミーティング）など、業務の適正化や援助の方針、サービス計画の検討などのため各種会議を行いました。

② 地域の代表者等を委員とし、地域からの様々な評価・要望・助言を伺い、サービスの質の確保を目的とした運営推進会議を開催しました。

(4) 研修

専門技術・知識の習得と資質の向上を目的として、各種外部研修へ参加し事業所での内部研修を実施しました。

(5) 防災対策

地域住民協力のもとで年 2 回避難訓練を実施しました。

(6) 行事等

月	内 容
4	自治会花見会参加、農園作業
5	第1回運営推進会議、避難訓練
6	農園作業
7	第2回運営推進会議、内部研修、自治会夕涼み会参加
8	熊野神社例大祭参加、新里中ボランティア交流
9	第3回運営推進会議、敬老会、新里中学校職業体験受入
10	新里まつり参加、避難訓練
11	第4回運営推進会議、内部研修
12	自治会忘年会参加、クリスマス会、新里中学校ボランティア交流
1	第5回運営推進会議、みずき団子作り、内部研修
2	内部研修
3	第6回運営推進会議

3 利用状況等

(1) 月別登録者状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
登録者数	24	23	25	23	21	22	23	23	23	22	22	25	23.0

(2) サービス利用状況

	登録人員	通い	訪問	泊り	その他
実人数	276	260	125	143	167
延べ人数	9778	4323	4264	1334	—
1日平均	26.8	11.8	11.6	3.7	—

(3) 介護度別利用状況

要介護度	人数	要介護度	人数
要支援1	0	要介護3	77 (6.4)
要支援2	0	要介護4	60 (5.0)
要介護1	18 (1.5)	要介護5	3 (0.3)
要介護2	117 (9.8)	介護度平均	2.7

()内は月平均

(4) 地区別利用状況

地区名	人数	地区名	人数
茂市地区	56 (4.6)	刈屋地区	99 (8.3)
腹帯地区	34 (2.8)	和井内地区	69 (5.8)
墓目地区	16 (1.3)	その他地区	1 (0.1)

()内は月平均

平成 29 年度新里紫桐会居宅介護支援事業所事業報告書

事業所は、利用者が在宅において可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況やその置かれている状況に配慮し、利用者の選択に基づいた適切な保険、高齢者支援サービスが総括的かつ効率的に提供されるよう支援を行いました。また、利用者とその家族との深い信頼関係を構築すると共に、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、提供されるサービス等が特定の種類または特定の居宅サービス事業者に偏ることのないよう、公正中立なサービス提供に努めました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

居宅介護支援

在宅介護支援センター（ブランチ）

(2) 事業規模

居宅介護支援 : 要介護者ケアプラン 97 名

2 事業の実施状況

(1) 居宅介護サービス計画の支援

① 利用者の居宅を訪問し、利用者および家族に面談して情報を収集し、解決すべき課題の把握（アセスメント）に努めました。

② 指定居宅サービス事業所等に関するサービス内容、利用料等の情報を提供し、サービスの選択をしていただきました。

③ 利用者の目標とする生活に対し、提供されるサービスの内容、その達成時期、サービスを提供する上での留意点を盛り込んだ居宅サービス計画の原案作成を行い、説明と同意をいただきました。

(2) 経過観察・再評価

① 毎月の訪問で経過観察（モニタリング）を持ち記録をしました。定期的な評価を行い、状態の変化に応じて居宅サービス計画変更、要介護区分変更申請等必要な支援を行いました。

(3) 個人情報保護・秘密保持

① サービス提供をする上で、サービス担当者会議等において文書で予め利用者及び家族の同意を得ない限り個人情報を用いることはありませんでした。また、秘密保持を徹底しました。

(4) 連携・調整

① サービス担当者会議において、地域の保健・医療・サービス提供事業者等各関係機関との連携を図り、より良いサービスの提供に努めました。

- ② 利用者の入退院時、情報共有シートを活用し医療とのスムーズな連携に努めました。
- ③ 居宅サービス計画の目標に沿ってサービスが提供されるよう、指定居宅介護事業所等との連絡調整を図りました。

(5) 給付管理

- ① サービス計画の内容に基づき毎月給付管理票を作成し、岩手県国民健康保険団体連合会に提出しました。

(6) 職員研修

- ① 職員の資質向上を図るため、法人で実施した内部研修会及び外部で開催された各種研修会に参加しました。

区分	開催数	延べ参加人数
各種外部研修会	23	27
法人内部研修会	4	6
ケアマネジメント部会（宮古市）	7	13

(7) その他

- ① 介護保険施設等への入所を希望した場合は、介護保険施設等への紹介、その他の支援を行いました。
- ② 研修会等へ参加し、ケアマネジメントの充実と質の向上に努めました。
- ③ 台風等の自然災害時においては、利用者の安否確認に努めました。
- ④ 事業所内での情報の共有をもって、利用者への継続した支援ができるよう努めました。

3 利用者の状況

(1) ケアプラン作成件数

	登録者数	ケアプラン作成数	介護予防プラン作成数
4月	66	63	7
5月	69	61	6
6月	69	62	5
7月	68	62	4
8月	69	58	4
9月	69	59	4
10月	69	64	4
11月	69	61	3
12月	70	65	5
1月	71	63	3

2月	71	69	3
3月	71	57	3
計	831	744	51

(2) 認定調査件数

	更新	区分変更	計
要介護	40	3	43
要支援	6	0	6
計	46	3	49

平成 29 年度在宅介護支援センター事業報告書

要介護高齢者および要援護となるおそれのある高齢者や家族を対象に、その福祉の向上を図るため要援護高齢者の実態把握につとめ、地域の高齢者やその家族からの相談に応じ、必要な保健・福祉サービスが受けられるように行政機関・サービス提供機関・居宅介護支援事業所等との連絡調整を行い支援しました。

1 事業の概況

在宅介護支援センター（宮古市地域包括支援センターのブランチとして受託）

2 事業の実施状況

（1）総合相談支援事業

- ① 来所・訪問等による初期相談支援のほか、必要に応じ継続的相談支援を行い、相談記録を整備しました。
- ② 相談受付票等を用い、相談記録を整備しました。

（2）日常の連絡調整

- ① 利用者、サービス提供事業者等の連絡に随時対応しました。
- ② 必要に応じ、宮古市地域包括支援センターに報告しました。

（3）実態把握調査

- ① 要援護高齢者等の基礎的事項、サービス利用状況、相談内容等の実態把握を行いました。
- ② 当該年度初回相談時、状況変化があった場合に実施しました。
(要介護認定者についても毎年 1 回は実態把握調査を行いました。)

（4）巡回相談会等の開催

- ① 地域に出向いて気軽に相談できる場を設定し、地域に潜在している相談ごとを掘り起こし相談支援を行いました。
- ② 多くの市民が参加できるよう地域のニーズに合わせて開催するよう工夫しました。
- ③ 在宅介護支援センターが行う他の事業と併せての開催や介護者同士の情報交換の場としての開催などを工夫しました。
- ④ 担当地区内に被災者が居住している場合には、被災者の参加にも配慮して開催しました。

(5) その他総合相談支援業務の実施に係る業務

- ① 福祉用具および介護用品の展示や紹介を行いました。
- ② 本人・家族・近隣住民・地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受けて的確な状況把握を行い、専門的または緊急の対応が必要かどうか判断し、専門的・継続的な関与または緊急の対応が必要と判断した場合には、詳細な情報収集を行い、課題を明確にし、個別の支援、対策を行いました。

(6) 配食サービス

- ① 調理が困難な独居及び高齢世帯等の在宅高齢者もしくは心身の障害か傷病者等に対して、食事を提供するとともに、当該利用者の安否確認を行うことにより地域社会の中で引き続き生活して行くことを支援し、高齢者の保健福祉の向上を図るよう努めました。
- ② 衛生管理に十分注意を払い、事故のないよう努めました。

3 年間実績報告

(1) 相談件数

相談経路別件数		相談方法別件数	
家族	336	電話	276
本人	519	訪問	693
関係機関	231	来所	53
民生委員	1	文書	0
その他	13	その他	78
計	1,100	計	1,100

(2) 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
介護に関する相談	17	状況把握	385
医療に関する相談	89	諸制度に関する相談	8
介護保険に関する相談	881	苦情に関する相談	1
高齢福祉サービスに関する相談	12	健康づくり保健事業に関する相談	0
施設入所に関する相談	14	財産・土地住宅に関する相談	2
福祉用具に関する相談	4	その他	12
住宅改修に関する相談	4	計	1,437

(3) 実態把握調査件数

種別	件数
要介護者・要支援者	83
特定高齢者	2
計	85

(4) 巡回相談状況

事業名	会場	内容	回数・人数
山桜の会	和井内 1 番組公民館	体操・じゃんけんゲーム	2 回・15 人

(5) 会議等

会議名	日時	会場
介護予防リーダー研修会	平成 29 年 5 月 16 日	宮古社協健やかホール
ランチ会議	平成 29 年 5 月 25 日	宮古市役所

(6) 配食状況

延べ登録者数	延べ配食数
79 人	1,228 食

平成 29 年度工房まんさく就労継続支援(B型)事業所事業報告書

工房まんさく就労継続支援(B型)事業所は、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の基に、就労や生産活動の機会を提供し利用者の立場に立ったサービスを提供することを目的とし事業を展開しました。

事業の実施にあたっては、総合的に利用者の支援ができるよう関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関との連携を図りました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

就労継続支援B型

(2) 事業規模

利用者 : 定員 20 名

登録者 : 23 名

2 事業の実施状況

(1) 生活訓練

① 基本的な生活習慣を身に付けることを目的に、また一人暮らしの利用者が増えてきていることなどを考え調理実習を行いました。

② 仲間作りを通じ、思いやりを学ぶために誕生者のいる月に誕生会を開きました。

(2) 授産訓練

① 社会復帰に向け働く意欲、また一人ひとりに合った作業を提供し生活の糧を知る喜びを学ぶということを目的に、受注作業や自主作業に取り組みました。

- ・清掃作業（紫桐苑掃除、あすなろ事業所洗濯たたみ、無人駅・バス停の掃除）
- ・ベットメイキング作業（紫桐苑）
- ・「認知症カフェ」、「喫茶こびり」、「カフェいっぷく」などの出前喫茶へ参加
- ・草刈り、草取り作業（宮古市健康課・新里保健センター、個人宅）
- ・イベント参加（紫桐苑納涼祭、新里まつり、新里生涯学習センター祭り）
- ・フローカータログ製作作業（株カリヤ）
- ・手ぬぐい掛け、箱作り作業など（内田販売システム）
- ・シソの葉分別作業（川井産業振興公社）
- ・リサイクル回収作業

(3) 社会参加促進

① 地域行事への参加やボランティアの方々との交流などを通じ社会参加を促しました。

② 親睦事業の企画・運営に参加し、社会性を身につける取り組みをしました。

(4) 年間行事

月	内 容
4	・調理実習 ・誕生会 ・お花見昼食会 ・出前喫茶 (カフェいっぷく、喫茶こびり)
5	・調理実習 ・誕生会 ・出前喫茶 (喫茶こびり) ・宮古圏域障がい者スポーツ交流会
6	・調理実習 ・出前喫茶 (カフェいっぷく、喫茶こびり) ・家族会との交流研修会 ・実習生受入れ (宮古第一中学校)
7	・調理実習 ・出前喫茶 (認知症カフェ、カフェいっぷく、) ・恵風支援学校 PTA 見学 ・実習生受入れ (恵風支援学校)
8	・調理実習 ・紫桐苑納涼祭 ・出前喫茶 (カフェいっぷく)
9	・調理実習 ・誕生会 ・職場体験実習受入れ (新里中学校) ・出前喫茶 (カフェいっぷく、喫茶こびり) ・第 17 回宮古市障がい者スポーツ大会
10	・誕生会 ・出前喫茶 (カフェいっぷく) ・第 43 回岩手県精神保健福祉大会 ・新里まつり参加 ・新里生涯学習センター祭り参加
11	・調理実習 ・出前喫茶 (認知症カフェ、カフェいっぷく、喫茶こびり)
12	・調理実習 ・誕生会 ・出前喫茶 (カフェいっぷく) ・クリスマス会
1	・調理実習 ・誕生会 ・出前喫茶 (新里地区民生児童員協議会)
2	・調理実習 ・誕生会
3	・調理実習 ・誕生会 ・お雛さま昼食会 ・自衛消防避難訓練 ・出前喫茶 (認知症カフェ、カフェいっぷく)

(5) 職員研修

月	内 容
4	・ケア会議
5	・防火管理者研修会 ・第 1 回職員スキルアップ勉強会 ・ケア会議 ・障がい福祉サービス事業者連絡会
6	・障がい福祉サービス事業者連絡会 ・ケア会議
7	・岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会総会 ・ケア会議 ・第 2 回職員スキルアップ勉強会
8	・平成 29 年度宮古圏域地域生活支援セミナー ・ケア会議
9	・ケア会議
10	・宮古圏域障がい者自立支援協議会研修会 ・ケア会議
11	・平成 29 年度岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会沿岸ブロック協議会 ・ケア会議
12	・平成 29 年度権利擁護セミナー研修会 ・職員防災研修会 ・ケア会議 ・法人全体職員研修
1	・平成 29 年度精神障がい者支援研修会 ・障がい者福祉サービス事業者集団指導 ・法人全体職員研修 ・ケア会議
2	・平成 29 年度いきいき交流研修会 ・あんしんサポート研修会 ・ケア会議
3	・ケア会議

3 利用者の状況

(1) 月別登録者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
登録者数	21	21	20	20	19	19	20	23	23	22	20	23	21

(2) サービス利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	20	20	22	20	19	20	23	20	20	19	19	21	243
実利用者数	21	21	19	19	17	17	19	22	22	20	20	23	240
延べ利用者数	298	246	284	252	234	229	264	269	274	244	246	296	3,154
月平均	14.9	13.2	12.9	12.6	12.3	11.5	11.5	13.5	13.7	12.8	12.9	14.1	12.9

事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人新里紫桐会
理事長 根 木 整 藏